

富山高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	環日本海諸国語演習Ⅲ(ロシア語)	
科目基礎情報							
科目番号	0144		科目区分	専門 / 選択			
授業形態	演習		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年	4			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員	ネースコロデワ エレーナ						
到達目標							
1. 目標 ロシア語で作文することを通してロシア語で考える力を養う 2. 概要 テキストの文章題を読み、練習問題を解きながら様々な表現を覚える。また発音と聞き取りの練習をする。 ロシアについての知識を広げることが目標に、各種のシミュレーション、ペア・ブラクティスを取り入れる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	既習の文法事項を理解し、正しく運用することができる。		既習の文法事項を理解し、およそ正しく運用することができる。		既習の文法事項を理解せず、運用することができない。		
評価項目2	シチュエーションに応じた会話ができる		おおよそシチュエーションに応じた会話ができる		シチュエーションに応じた会話ができない		
評価項目3	シチュエーションに応じてロシア語で作文することができる		おおよそシチュエーションに応じてロシア語で作文することができる		シチュエーションに応じてロシア語で作文することができない		
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 1							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法	教員単独。講義及び演習。						
注意点	評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受験することができる。追認試験の結果、単位の修得が認められたものにあつては、その評価を60点とする。評価方法及び評価基準は本試験と同じとする。						
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	第4課	授業の流れを理解する。 運動の動詞を理解する。			
		2週	第5課	造格の用法を理解する。			
		3週	第5課	造格の用法を理解する。			
		4週	第5課	造格の用法を理解する。			
		5週	第5課	造格の用法を理解する。			
		6週	第5課	造格の用法を理解する。			
		7週	第6課	名詞の格変化の復習を通して定着する			
		8週	中間試験	既習事項が理解できている			
	2ndQ	9週	第6課	名詞・代名詞・形容詞を正しく運用することができる			
		10週	第6課	名詞・代名詞・形容詞を正しく運用することができる			
		11週	第6課	不定人称文を理解し、正しく運用することができる			
		12週	第1課	動詞の完了体と不完了体、再帰動詞の用法を理解する。			
		13週	第1課	完了体動詞の受動態を理解する。			
		14週	第1課	受動態の用法を理解する。			
		15週	期末試験	既習事項が理解できている			
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	小テスト	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	25	0	0	0	0	10	35
専門的能力	25	0	0	0	0	10	35
分野横断的能力	20	0	0	0	0	10	30